

平成27年度 第2回高士区地域協議会

次 第

日時：平成27年5月7日(木)午後1時30分～

会場：公民館高士分館 2階 中会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

○地域活動支援事業について

- ・高士区の提案状況について
- ・提案事業に関する概要説明及びヒアリング

4 その他

5 閉 会

高士区 地域活動支援事業 ヒアリング日程表

日時:平成27年5月7日午後1時30分～

場所:公民館高士分館 中会議室

	時間	提案団体名	事業名
士-2	13:40～13:55	高士地区振興協議会	地区だより「たかし」200号記念誌事業
士-4	13:55～14:10	高士防犯防災協会	高士地区の安全安心対策事業
士-7	14:10～14:25	高新会	『男の料理教室』開催事業
休 憩 (14:25～14:40)			
士-8	14:40～14:55	旬の野菜クッキング	『地元野菜の魅力発見』旬の野菜クッキング事業
士-10	14:55～15:10	高士地区振興協議会	高士地区のイメージキャラクター創出による地域活性化事業

※「士-1」、「士-3」、「士-5」、「士-6」、「士-9」事業は、継続事業であり昨年度と事業内容に大きな変更がないため、ヒアリングは実施しません。

提案のあった事業の一覧（高土区）

	項目	内容
事業番号 No.土-1	事業名	高齢者の見守り安否の確認・座談会・会食会事業
	提案者名	ひとふさの会 会長 塩坪 恭平
	概算事業費及び市支払希望額	148千円 (うち、市支払希望額：94千円)
	事業の目的（概略）	高齢者の孤独感の解消、健康維持、社会参加の推進を図るため、ひとり暮らし高齢者の安否確認や、高齢者が集まる座談会や会食会を実施する。
	事業の内容（概略）	(1) 事業の対象 高土区内の高齢者 (2) 事業の実施方法 ・各町内ごとに高齢者世帯の見守り対象者を選び、見守りや声かけ、訪問活動等を実施する。希望者を対象に、座談会・会食会を年4回実施する。
	事業の実施期間	平成27年4月～平成28年3月
事業で期待する効果	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の見守りを行うことで、安心・安全な地域づくりを行うことができる。また、高齢者の座談会・会食会を実施し、人とのつながりをもつことにより、孤独感の解消、健康維持、社会参加に役立てることができる。	
事業番号 No.土-2	事業名	地区だより「たかし」200号記念誌事業
	提案者名	高土地区振興協議会 会長 保坂 善夫
	概算事業費及び市支払希望額	796千円 (うち、市支払希望額：796千円)
	事業の目的（概略）	平成6年12月より発行している、地区だより「たかし」の発行回数が、平成27年9月号で200回となる事を記念して、記念誌を発行し、高土区の各戸や関係団体等に配布する。
	事業の内容（概略）	(1) 事業の対象 ・高土地区全域 (2) 事業の実施方法 ・地区広報誌として創刊された、地区だより「たかし」の200号発刊を記念して、記念誌を作成し、各戸や関係機関へ配布する。
	事業の実施期間	平成27年4月～平成28年3月
事業で期待する効果	各種団体等の活動や各町内の出来事、住民の投稿などが時代の変遷により移り変わる事を参考にした、新たな地域活性化の醸成を図る。	

提案のあった事業の一覧（高土区）

	項目	内 容
事業番号 No.土-3	事業名	高土地域の歴史調査・集積事業
	提案者名	高土歴史研究会 会長 横川 英男
	概算事業費及び市支払希望額	320 千円 (うち、市支払希望額：300 千円)
	事業の目的（概略）	地域の歴史や文化の継承のため、高土地区の歴史資料を収集しまとめるとともに、子どもたちのための歴史講座を開催する。
	事業の内容（概略）	(1) 事業の対象 ・高土地区全域 (2) 事業の実施方法 ・歴史資料の収集及び歴史講座の開催。
	事業の実施期間	平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
	事業で期待する効果	高土地区の歴史をまとめることで、地域の歴史や文化を継承することができる。また、子どもたちが歴史を知ることで、地域のよさを認識し、地域に愛着を持つことができる。
事業番号 No.土-4	事業名	高土地区の安全安心対策事業
	提案者名	高土防犯防災協会 会長 青木 正紘
	概算事業費及び市支払希望額	1,878 千円 (うち、市支払希望額：1,877 千円)
	事業の目的（概略）	防災に関する講習会や避難訓練を実施するとともに、避難行動及び避難所での初期段階に必要な防災備品の整備を行い、住民の防災意識を高める。
	事業の内容（概略）	(1) 事業の対象 ・高土地区全域 (2) 事業の実施方法 ・防災に関する講習会、防災訓練を行うとともに、避難行動及び避難所での初期段階に必要な備品を整備する。
	事業の実施期間	平成 27 年 6 月～平成 27 年 12 月
	事業で期待する効果	防災に関する講習会や避難訓練を行うことで、住民の防犯防災に対する意識を高めることができる。また、避難所での必要備品を整備することにより、災害発生時に速やかな対応が可能となる。

提案のあった事業の一覧（高士区）

	項目	内 容
事業番号 No.士-5	事業名	ふるさと高士まつり事業
	提案者名	高士地区振興協議会 会長 保坂 善夫
	概算事業費及び市支払希望額	350 千円 (うち、市支払希望額：350 千円)
	事業の目的（概略）	地域の一体感の醸成と地域活性化を図るため、高士区全域の住民が参加する祭を開催する。
	事業の内容（概略）	(1) 事業の対象 ・高士地区全域 (2) 事業の実施方法 ・高士地区振興協議会が主体となり実行委員会を組織し、町内会、老人会、婦人会、体協、消防団、PTA 等各種団体が協力し、高士まつりを実施する。
	事業の実施期間	平成 27 年 6 月～平成 27 年 8 月
	事業で期待する効果	子どもから高齢者まで、多くの住民が参加し、事業を通して交流することにより、ふるさとを愛し、地域や家庭の絆を強めることにより、地域や家庭の果たす役割の低下を防ぎ、まちづくりの活性化を図ることができる。
事業番号 No.士-6	事業名	高士地区お買い物ツアー事業
	提案者名	高士地区婦人会 会長 加藤 ミサコ
	概算事業費及び市支払希望額	222 千円 (うち、市支払希望額：158 千円)
	事業の目的（概略）	今後更に高齢化が進展する近い将来も安心して生活が続けられる高士区を実現するために、買い物ツアーを実施する。
	事業の内容（概略）	(1) 事業の対象 高士地区全域 (2) 事業の実施方法 ・お買い物ツアーを 5 月から月 1 回の頻度で実施する。(豪雪が予想される 2 月は除くこととする。)
	事業の実施期間	平成 27 年 5 月～平成 28 年 3 月
	事業で期待する効果	引きこもりがちな高齢者なども積極的に外に出たいという気持ちの誘因効果や、交流の広がりによる地域活性化への波及効果が期待できる。

提案のあった事業の一覧（高士区）

	項目	内容
事業番号 No.士-7	事業名	『男の料理教室』開催事業
	提案者名	高新会 会長 青木 正紘
	概算事業費及び市支払希望額	154千円 (うち、市支払希望額： 81千円)
	事業の目的（概略）	普段は仕事が忙しく、地域の人と関わる機会が少ない男性を対象とした料理教室を開催し、地域の幅広い世代の男性が集まる機会を創出することで、地域活性化を図る。
	事業の内容（概略）	(1) 事業の対象 高士地区全域の男性 (2) 事業の実施方法 『男の料理教室』を10月から月1回の頻度で開催し、地域の男性が集まる機会を創出する。また、教室開催後は、実績をまとめ、地域へ発信する。
	事業の実施期間	平成27年5月～平成28年3月
事業番号 No.士-8	事業名	『地元野菜の魅力発見』旬の野菜クッキング事業
	提案者名	旬の野菜クッキング 代表 太田 早苗
	概算事業費及び市支払希望額	173千円 (うち、市支払希望額： 88千円)
	事業の目的（概略）	高士地区の旬の野菜を使った料理教室を開催し、料理を通して幅広い地域や世代に「高士の魅力」を発信する。また、料理教室を開催することで、地域での居場所づくりを行う。
	事業の内容（概略）	(1) 事業の対象 高士地区全域 (2) 事業の実施方法 毎回1つ以上の地元野菜を使用した料理教室を、5月から11月までの毎月1回開催する。また、教室開催後は旬の野菜を使ったレシピ等を地域へ発信する。
	事業の実施期間	平成27年4月～平成28年3月
	事業で期待する効果	地元の野菜を使った料理教室を開催することで、幅広い地域や世代の人に料理を通して高士地区の魅力を再認識する機会を提供することで、地域への愛着が生まれることが期待できる。

提案のあった事業の一覧（高士区）

	項目	内容
事業番号 No.士-9	事業名	平成27年度高士地区・高士小学校体育大会
	提案者名	高士地区体育協会 会長 笹口 清昭
	概算事業費及び市支払希望額	222千円 (うち、市支払希望額：221千円)
	事業の目的（概略）	高士地区民が一同に会し、体育大会を行い、地区民の融和団結を図り、スポーツを通じ体力の維持・向上と各種団体の協力とボランティア精神の醸成を図る。
	事業の内容（概略）	(1) 事業の対象 高士地区全域 (2) 事業の実施方法 ・地区の各種団体及び中学生のボランティア活動により毎年恒例の体育大会を企画・運営する。
	事業の実施期間	平成27年4月～平成27年6月
	事業で期待する効果	地区の年間計画の一大イベントの一つである各種競技による大会を行うことにより、地区民の融和団結を図ることができ、地区の各団体の協力心とボランティア精神の醸成を図ることができる。スポーツを通じ、体力の維持向上を図ることができる。
事業番号 No.士-10	事業名	高士地区のイメージキャラクター創出による地域活性化事業
	提案者名	高士地区振興協議会 会長 保坂 善夫
	概算事業費及び市支払希望額	105千円 (うち、市支払希望額：104千円)
	事業の目的（概略）	高士地区を他地区へPRすることと、高士地区の住民に地域への愛着を持ってもらう手段として、高士地区のイメージキャラクターを公募により創出し、決定したキャラクターは、高士地区の団体等のチラシやお便り等に掲載し活用する。
	事業の内容（概略）	(1) 事業の対象 高士地区全域 (2) 事業の実施方法 高士地区のイメージキャラクターを高士地区全域の住民を対象に募集し、集まった作品で「イメージキャラクターコンテスト」を開催する。コンテストでは、住民による投票を実施し、投票の結果1位になったイラストを高士地区のイメージキャラクターとして認定し、活用する。
	事業の実施期間	平成27年5月～平成28年3月
	事業で期待する効果	イメージキャラクターは地域住民から応募を集い、「高士まつり」でコンテストを開催し、参加者の投票により決定することから、イメージキャラクターを通して、幅広い世代から「高士まつり」に参加してもらうきっかけとなり、住民同士のつながりが広がり、地域活性化への波及効果が期待できる。

平成27年度地域活動支援事業(高土区) 担当(関係)課からの所見一覧

	事業の名称	担当課	担当課からの特記事項
士-1	高齢者の見守り安否の確認、 座談会、会食会事業	高齢者支援課	・課題となるような事項はありません。
士-4	高土地区の安全安心対策事業	市民安全課	・当課所管の「上越市自主防災組織等育成事業補助金」との併用はできません。
士-6	高土地区お買い物ツアー事業	新幹線・交通政 策課	・一般乗用旅客自動車運送事業に該当するためには、タクシー事業者と婦人会の貸切契約であることから、運行の予約受付や運行内容の指示は婦人会が行う必要があります。そのため、参加者の費用負担(参加費)は、参加者がタクシー事業者を支払うのではなく、一度婦人会に納入し、婦人会が一括貸切料としてタクシー事業者を支払うこととしてください。(参加者がタクシー事業者に直接参加料を支払うことは、法令に抵触する可能性があります。)
		産業振興課	・商業の活性化・中心市街地活性化の観点より、当該事業の行き先として大型店のみではなく本町商店街等の商店街も検討頂けるようご配慮いただきたい。

※「士-2 地区だより「たかし」200号記念誌事業」、「士-3 高土地区の歴史調査・集積事業」、「士-5 ふるさと高土まつり事業」、「士-7 『男の料理教室』開催事業」、「士-8 『地元野菜の魅力発見』旬の野菜クッキング事業」、「士-9 平成27年度高土地区・高土小学校体育大会事業」、「士-10 高土地区のイメージキャラクター創出による地域活性化事業」の7事業については、市役所各部署との直接的な関連がないものと考えられることから、担当(関係)課への所見照会を行っていません。